



**BrovalBox DS213+・DS214+**  
**File Station**  
**基本操作マニュアル**  
ver1.1

2013年 10月 29日 作成

2014年 9月 5日 改訂

## 改訂履歴

バージョン	発行日	改訂履歴
1.1	2014年9月5日	・ DS213+とDS214+用にマニュアルを更新

# 目次

共有フォルダの追加 .....	1
共有フォルダの中にサブフォルダを追加 .....	4
ファイルのアップロード .....	6
グループ作成・メンバー追加 .....	8
共有フォルダのアクセス権限(ユーザー) .....	13
共有フォルダのアクセス権限(グループ) .....	15
ユーザー設定のバックアップ方法 .....	17
ユーザー設定の復元方法 .....	20
バックアップの方法(外付け HDD) .....	23
バックアップの復元方法(外付け HDD) .....	28

# 共有フォルダの追加

～「File Station」で共有するフォルダを新しく追加します。～

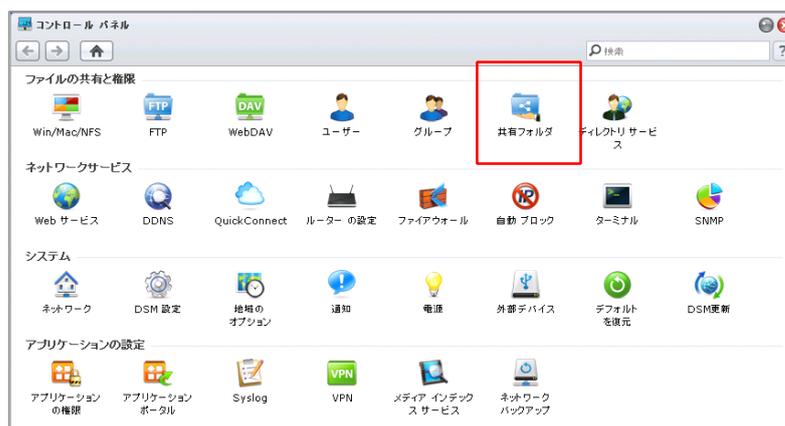
1

「管理者権限 (admin) 」でログイン後【コントロールパネル】をクリックします。



2

「コントロールパネル」画面が表示されるので、【共有フォルダ】をクリックします。



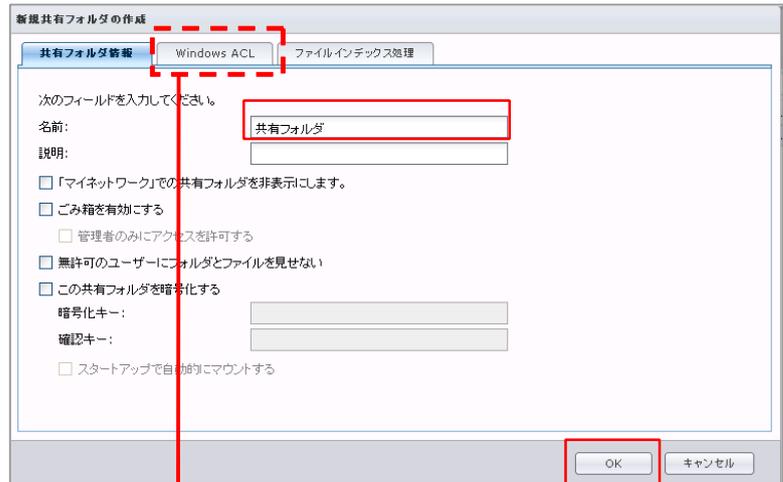
3

「共有フォルダ」画面が表示されるので、【作成】をクリックします。



# 4

「新規共有フォルダの作成」画面が表示されるので、「名前」の欄にフォルダ名を入力し **【OK】** をクリックします。



Windows Access Control リスト (ACL) は、Windows 環境におけるアクセス権限「Full Control」を設定することができます。デフォルトの設定では Windows Access Control リスト (ACL) にチェックが入っておりませんので、Windows 環境のアクセス権限に BrovalBox のアクセス権限が影響を受けてしまう場合がございますのでご注意ください。

BrovalBox で設定した権限をそのまま利用したい場合は、**共有フォルダ作成時に「Everyone に「Full Control」を与える」**にチェックを入れてください。

例えば「Full Control」が与えられていないフォルダにおいて、Windows 環境のアクセス権限が「読取り」のデータを、共有フォルダの権限が「読取り/書込み」に設定された BrovalBox に取り込んだ場合、アクセス権限は「読取り」に設定されます。

# 5

「ローカルエリアのアクセス権限」画面が表示されるので、作成した共有フォルダに対するアクセスの権限を「ユーザー」ごとに設定します。

例)

■作成した共有フォルダにアクセスや書き込みを許可したい場合  
⇒「読み込み/書き込み」にチェック

■作成した共有フォルダにアクセスや書き込みを許可したくない場合  
⇒「読み込み専用」または「アクセスなし」にチェック

設定後、**[OK]** をクリック



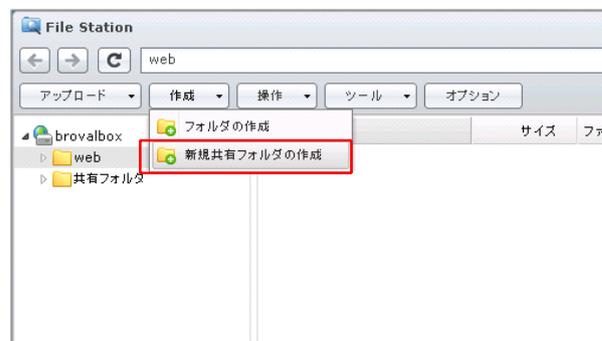
# 6

「共有フォルダ」画面に戻り、新たに共有フォルダが作成されたことを確認することができます。



## 目|ノート

共有フォルダの新規作成は「File Station」からでも行うことができます。



# 共有フォルダの中にサブフォルダを追加

～「File Station」で作成した共有フォルダの中にサブフォルダを追加します。～

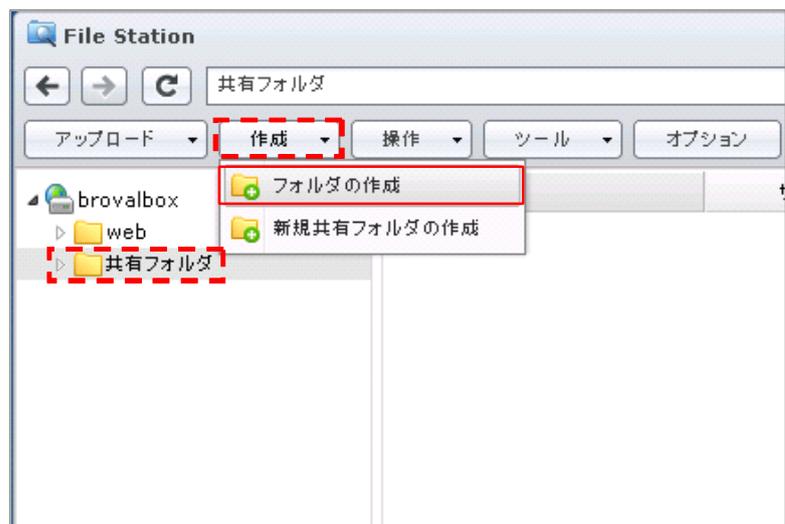
1

File Station を利用できるユーザーでログイン後、**【File Station】** をクリックします。

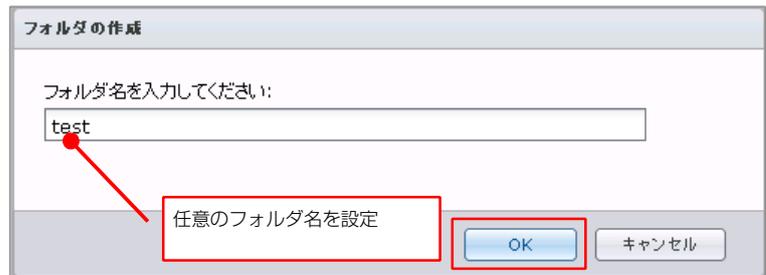


2

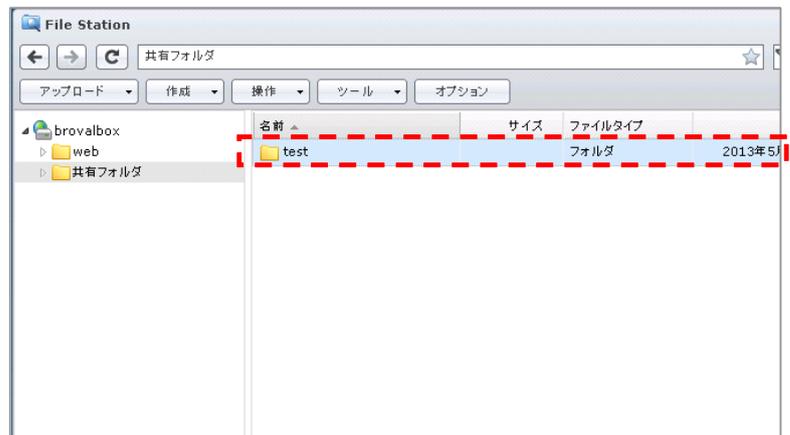
File Station 画面が表示されるので、サブフォルダを作成したいフォルダを選択した状態で、「作成」から**【フォルダの作成】** をクリックします。



- 3 フォルダの作成画面が表示されるので、フォルダ名を入力して【OK】をクリックします。



- 4 選択された場所にサブフォルダが追加されます。



# ファイルのアップロード

～「File Station」からファイルをアップロードする方法～

1

File Station を利用できるユーザーでログイン後、【File Station】をクリックします。



2

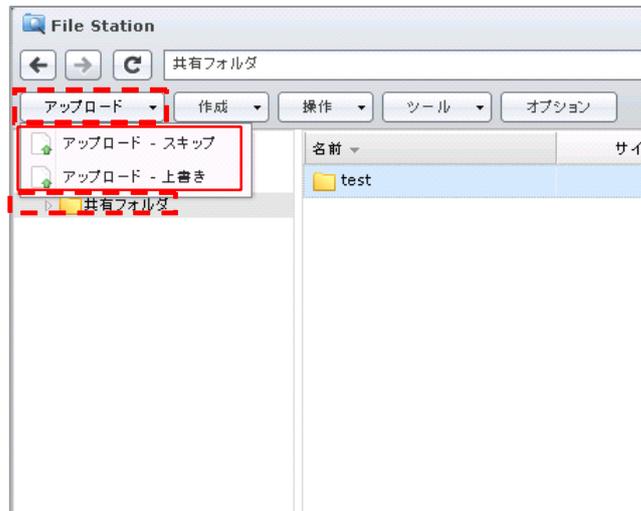
File Station 画面が表示されるので、ファイルをアップロードしたい「共有フォルダ」を選択した状態で「アップロード」から【アップロード - スキップ】か【アップロード - 上書き】を選択します。

#### ■アップロード - スキップ

⇒既に同じファイルが存在した場合、スキップします。

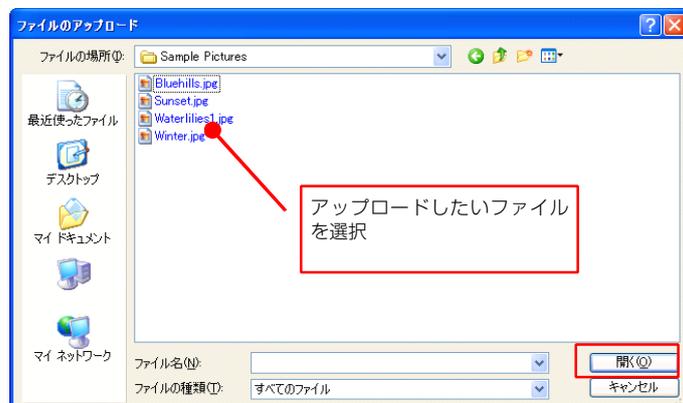
#### ■アップロード - 上書き

⇒既に同じファイルが存在した場合、上書きします。



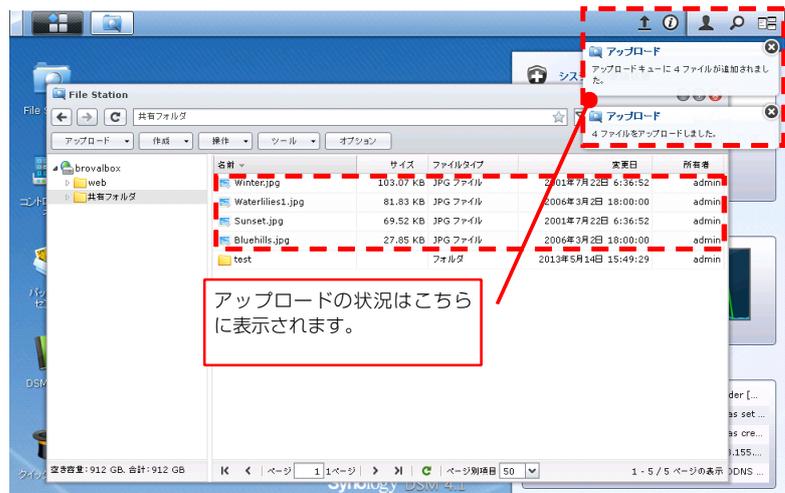
3

ファイルの選択画面が表示されるので、アップロードしたいファイルを選択後、【開く】をクリックします。



# 4

選択されたファイルが自動的にアップロードされ、「完了」と表示されれば、アップロードは完了となります。



アップロードの状況はこちらに表示されます。

## 目|ノット

アップロードは以下の最新のウェブブラウザ、Java、Flash Player がインストールされていないと、正しくアップロードができない場合がございますのでご注意ください。

- ブラウザ： Internet Explorer 8 以上、 Firefox 3.6 以上、 Safari 5.0 以上、 Chrome (AJAX および JavaScript を有効に設定)
- Java (ローカルコンピュータでフォルダを表示するために使用)： Java Runtime Environment (JRE) 5 以上
- Flash： Flash Player 9.0.28 以上

# グループ作成・メンバー追加

～「File Station」で利用できるグループ作成方法と、グループへのメンバー追加方法～

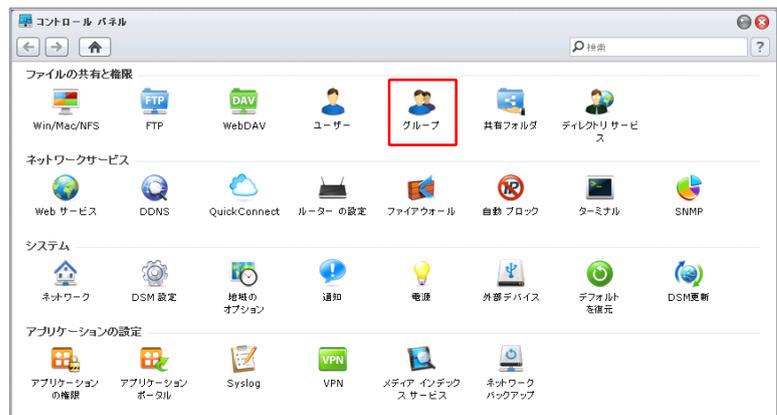
1

「管理者権限 (admin)」でログイン後【コントロールパネル】をクリックします。



2

「コントロールパネル」画面が表示されるので、【グループ】をクリックします。



3

「コントロールパネル - グループ」画面が表示されるので、【作成】をクリックします。



4

「グループ作成」画面が表示されるので、「グループ名」の欄にグループ名を入力し【OK】をクリックします。

グループ作成ウィザード

グループ情報

次の欄を入力してください

グループ名 \*:  
グループの説明:

\* 必須フィールド

任意のグループ名を設定

次へ    キャンセル

5

「権限の割当 - 共有フォルダ」画面が表示されますので、グループに対して権限を設定し、【次へ】をクリックします。

グループ作成ウィザード

権限の割り当て - 共有フォルダ

フォルダを共有するためのアクセス権を設定

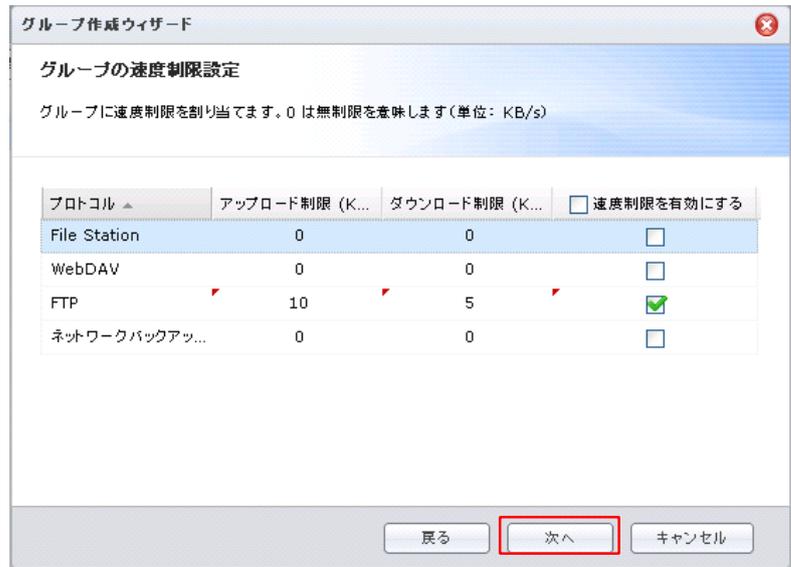
名前	<input type="checkbox"/> 読み取り専用	<input type="checkbox"/> 読み取り/書き込み	<input type="checkbox"/> アクセスなし
web	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
共有フォルダ	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

特権の優先順位: NA > RW > RO

戻る    次へ    キャンセル

6

「グループの速度制限設定」画面が表示されますので、アプリケーションに対して速度制限を設定する場合は必要なアプリケーションにチェックを入れ、【次へ】をクリックします。



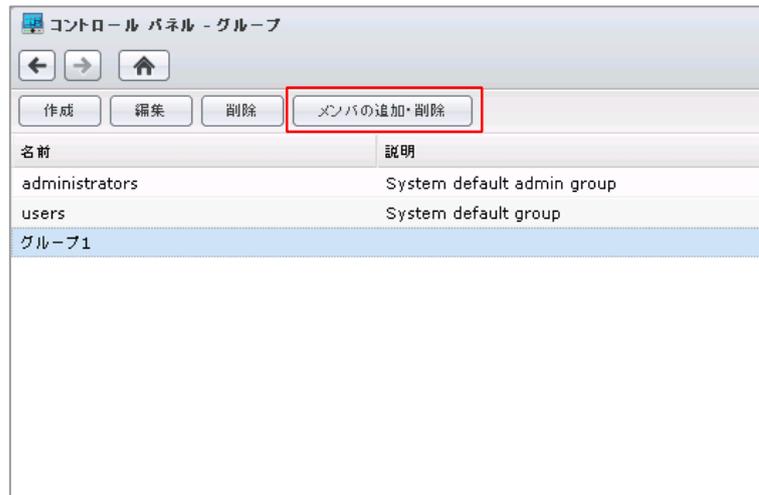
7

「設定の確認」画面が表示されますので、【適用】をクリックします。



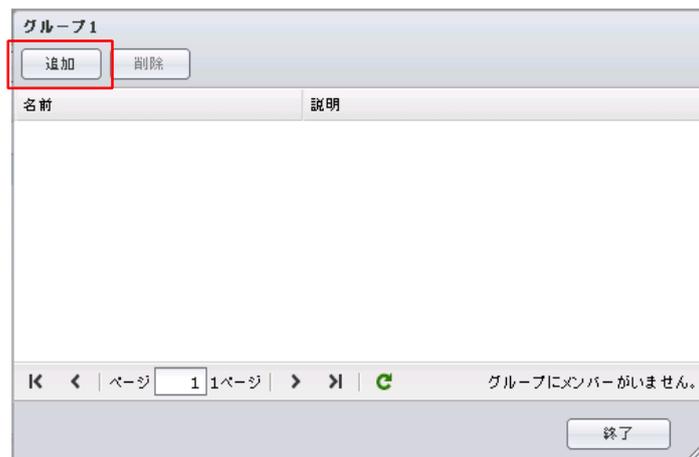
8

「コントロールパネル - グループ」画面に戻り「グループ名」が作成されるので、作成したグループを選択した状態で、【メンバの追加・削除】をクリックします。



9

「選択されたグループ名」画面が表示されるので、【追加】をクリックします。



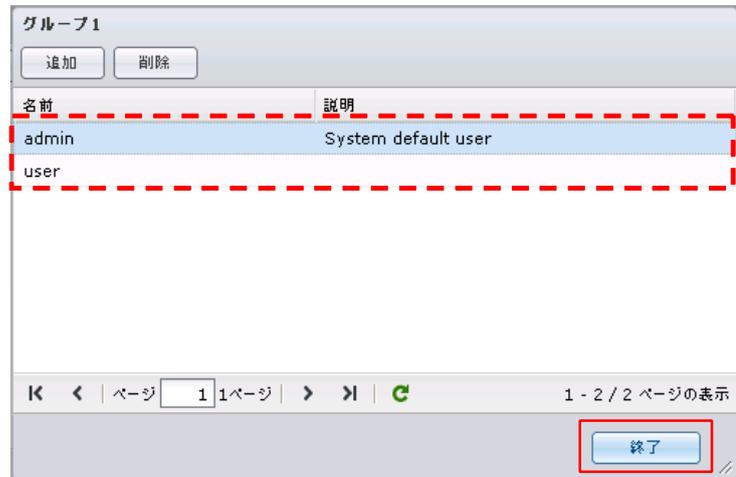
10

「ユーザーを選択してください」画面が表示されるので、追加したい「ユーザ」選択し【OK】をクリックします。



11

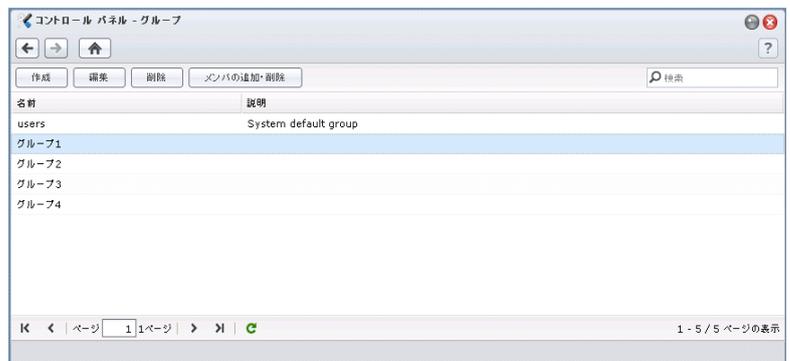
選択したグループに「ユーザ」が追加されたら【終了】をクリックします。



12

「コントロールパネル - グループ」画面に戻り、グループに選択したユーザが割り当てられます。

※この設定は、「ユーザ」の作成からでも行う事ができ、設定した内容は「グループ」にも反映されます。



# 共有フォルダのアクセス権限(ユーザー)

～「File Station」の共有フォルダへアクセスできる権限をユーザーごとに設定する方法～

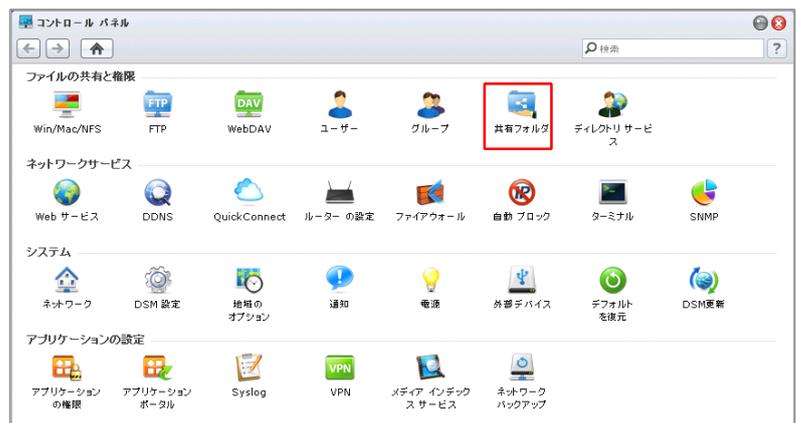
1

「管理者権限 (admin) 」でログイン後【コントロールパネル】をクリックします。



2

「コントロールパネル」画面が表示されるので、【共有フォルダ】をクリックします。



3

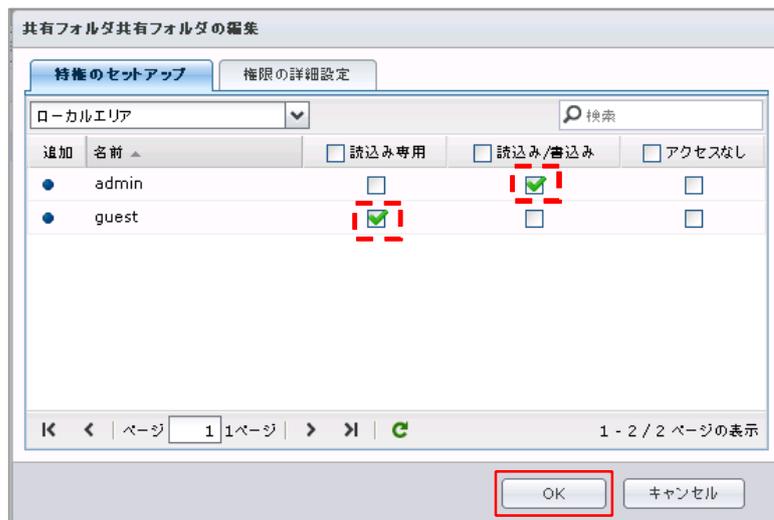
「コントロールパネル - 共有フォルダ」画面が表示されるので、アクセス権限を設定したいフォルダを選択し、「特権」から【特権のセットアップ】をクリックします。



4

「共有フォルダの編集」画面が表示されるので、「ローカルエリア」欄に設定されている各ユーザごとに、「読み込み/書き込み」「読み込み専用」「アクセスなし」の該当する権限にチェックをいれます。

アクセス権限を設定後、【OK】をクリックします。



5

「コントロールパネル - 共有フォルダ」画面に戻り、設定完了です。



# 共有フォルダのアクセス権限(グループ)

～「File Station」の共有フォルダへアクセスできる権限をグループごとに設定する方法～

1

「管理者権限 (admin) 」でログイン後【コントロールパネル】をクリックします。



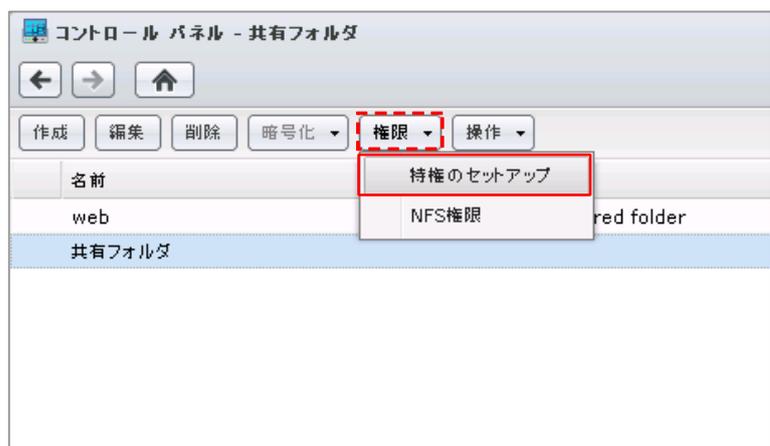
2

「コントロールパネル」画面が表示されるので、【共有フォルダ】をクリックします。



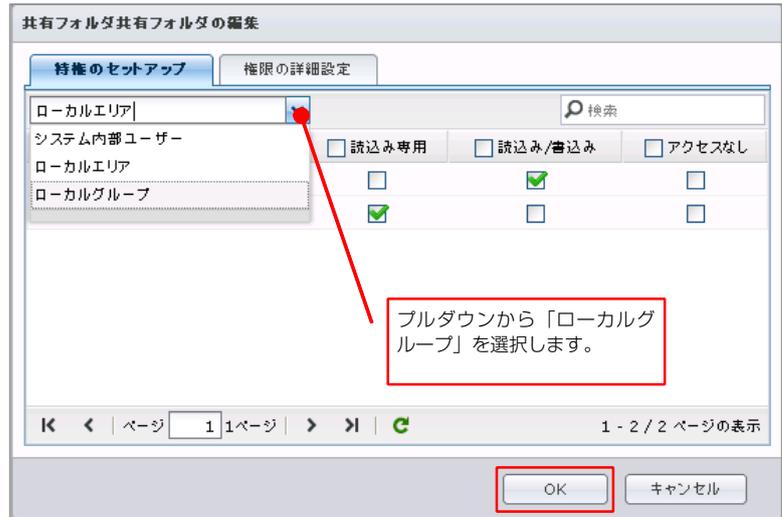
3

「コントロールパネル - 共有フォルダ」画面が表示されるので、アクセス権限を設定したいフォルダを選択し、「権限」から【特権のセットアップ】をクリックします。



4

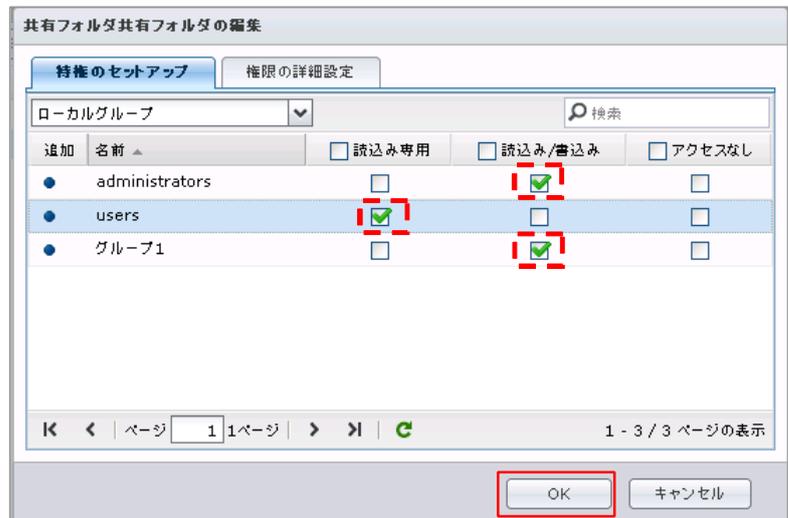
「共有フォルダの編集」画面が表示されるので、「ローカルエリア」のプルダウンから【ローカルグループ】を選択します。



5

「ローカルグループ」画面が表示されるので、各グループごとに「読み込み/書き込み」「読み込み専用」「アクセスなし」の該当する権限にチェックをいれます。

アクセス権限を設定後、【OK】をクリックします。



6

「共有フォルダ」が表示され、設定完了です。



# ユーザー設定のバックアップ方法

～ユーザー、グループ、共有フォルダの各種設定をバックアップする方法～

1

「管理者権限 (admin)」でログイン後、admin メニュー から、**【バックアップと復元】** をクリックします。



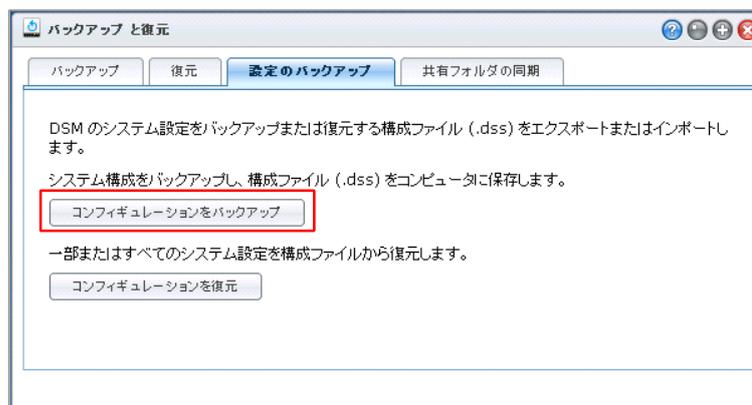
2

「バックアップと復元」画面が表示されますので、**【設定のバックアップ】** をクリックします。

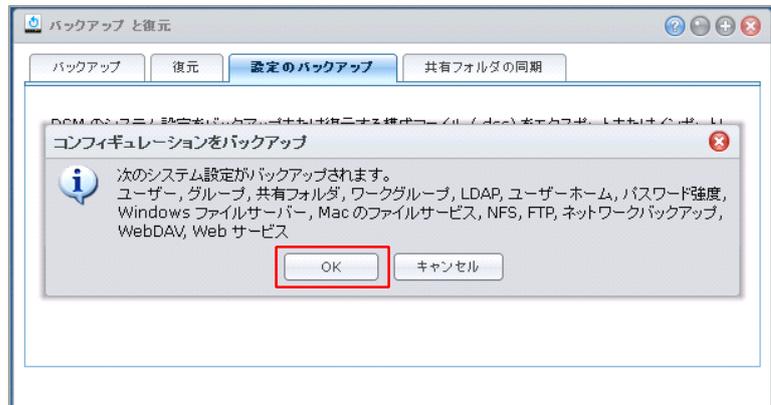


3

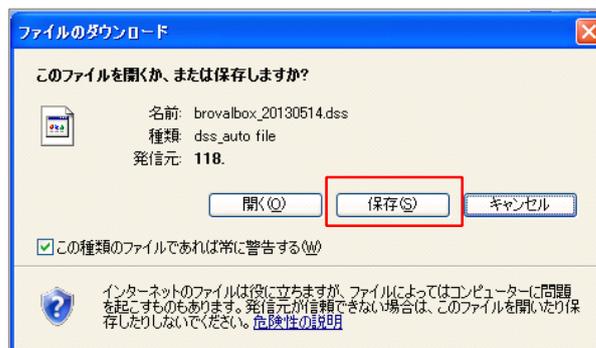
「設定のバックアップ」画面が表示されるので、**【コンフィギュレーションをバックアップ】** をクリックします。



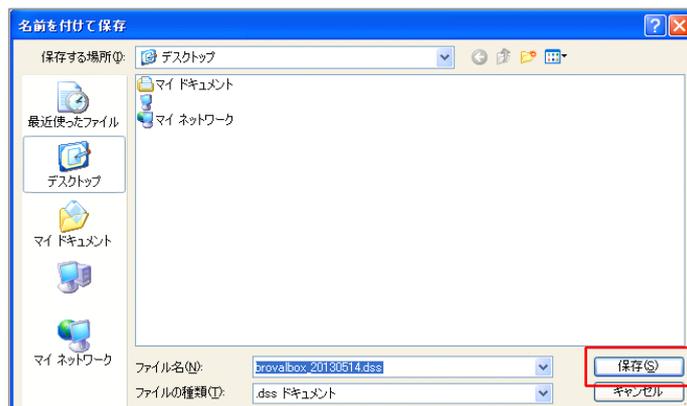
- 4 「コンフィギュレーションをバックアップ」画面が表示されますので、**【OK】** をクリック



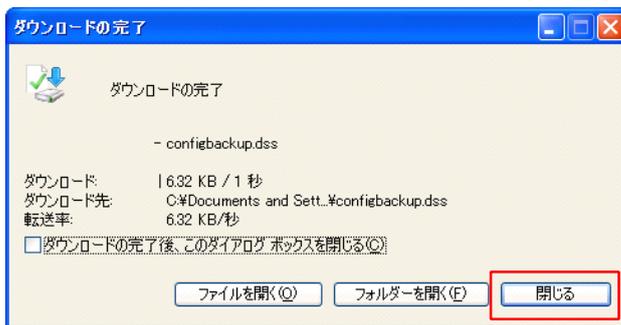
- 5 「ファイルのダウンロード」画面が表示されるので、**【保存】** をクリックします。



- 6 「名前を付けて保存」画面が表示されるので、任意の場所を指定し **【保存】** をクリックします。



7 「ダウンロード完了」画面が表示されるので、指定した保存先に「brovalbox\_作成日.dss」というファイルが作成されているのを確認し、ユーザー設定のバックアップは完了となります。



# ユーザー設定の復元方法

～ユーザー、グループ、共有フォルダの各種設定を復元する方法～

※ 「ユーザー設定」のバックアップを行っていないければ、復元することはできません。

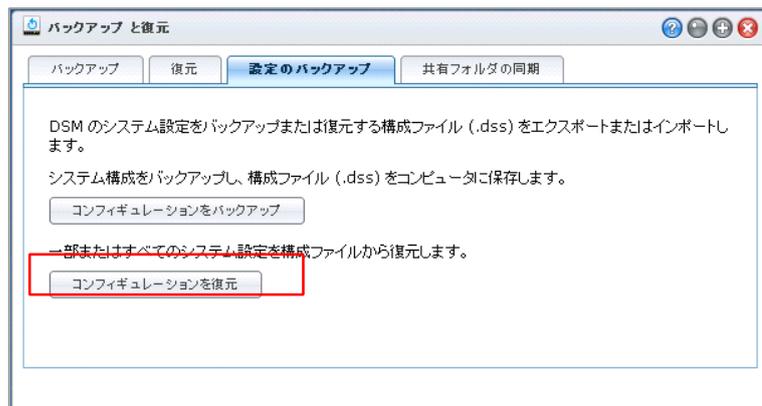
1 「管理者権限 (admin)」でログイン後、admin メニューから、【バックアップと復元】をクリックします。



2 「バックアップと復元」画面が表示されますので、【設定のバックアップ】をクリックします。



3 「設定のバックアップ」画面が表示されるので、【コンフィギュレーションを復元】をクリックします。



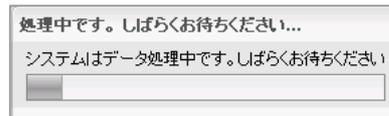
4

「一部またはすべてのシステム設定を構成ファイルから復元します。」の画面が表示されますので、「参照」からバックアップしたデータを選択し、【OK】をクリックします。



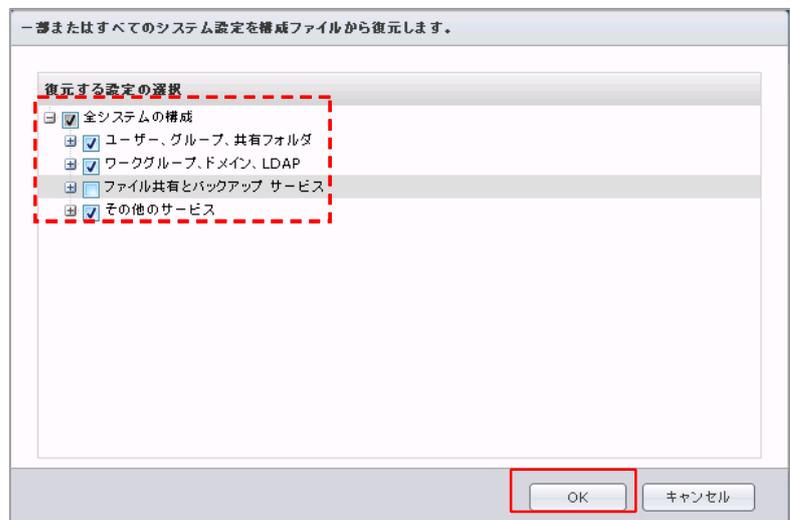
5

「処理中です。しばらくお待ちください...」画面が表示され、続いて「確定」の画面が表示されますので、【上書き】もしくは【スキップ】をクリックします。



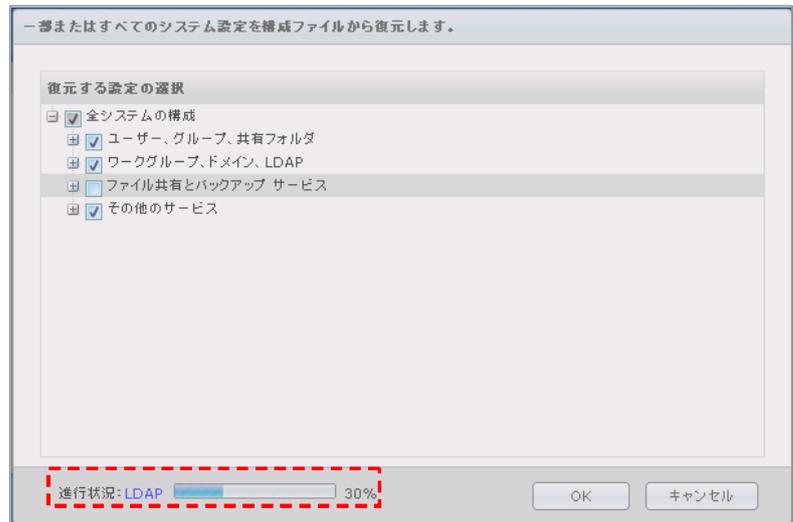
6

「復元する設定の選択」画面が表示されますので、復元したい項目にチェックを入れ、【OK】をクリックします。



7

進行状況が表示され、「システム設定が復元されました。」と表示されればバックアップの復元は完了となります。

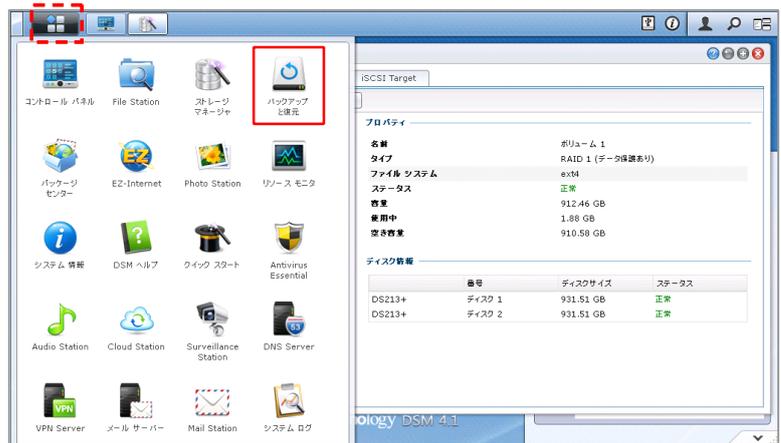


# バックアップの方法(外付け HDD)

～BrovalBox のデータを外付け HDD にバックアップする方法～

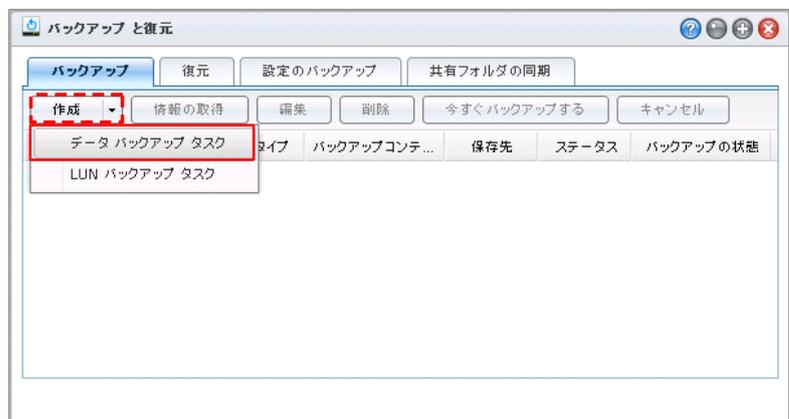
1

「管理者権限 (admin)」でログイン後、admin メニューから **バックアップと復元** をクリックします。



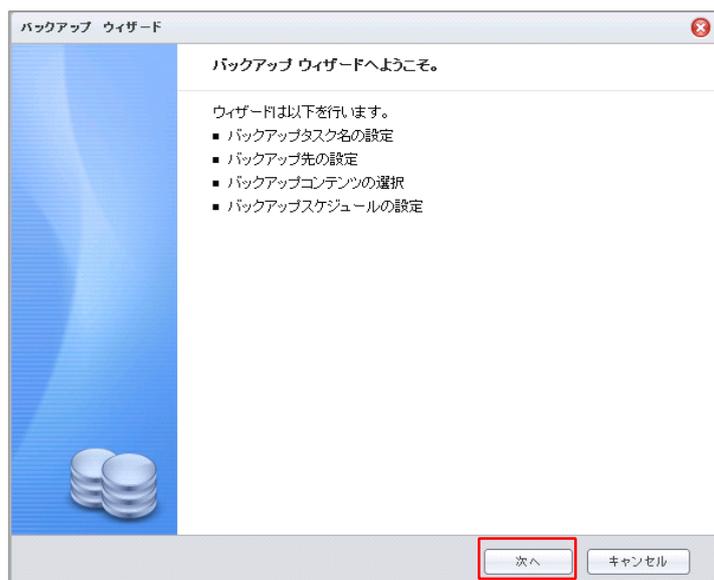
2

「バックアップと復元」画面が表示されますので、「作成」から **データバックアップタスク** をクリックします。



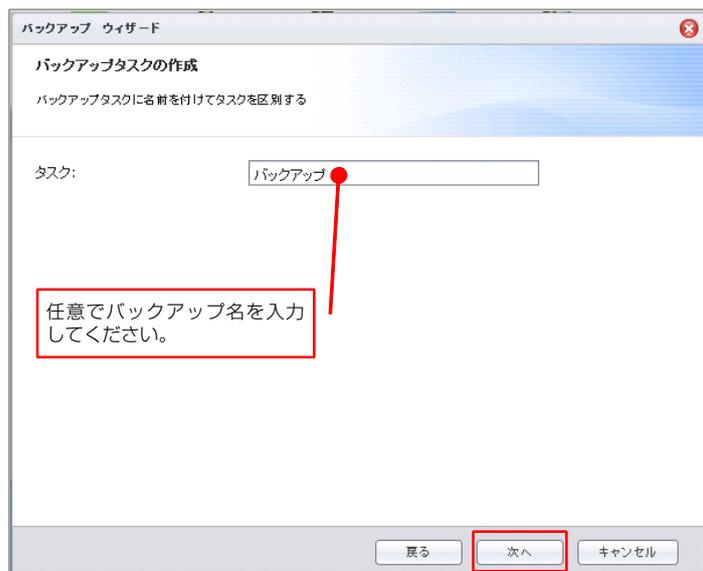
3

「バックアップ ウィザード」画面が表示されますので、**次へ** をクリックします。



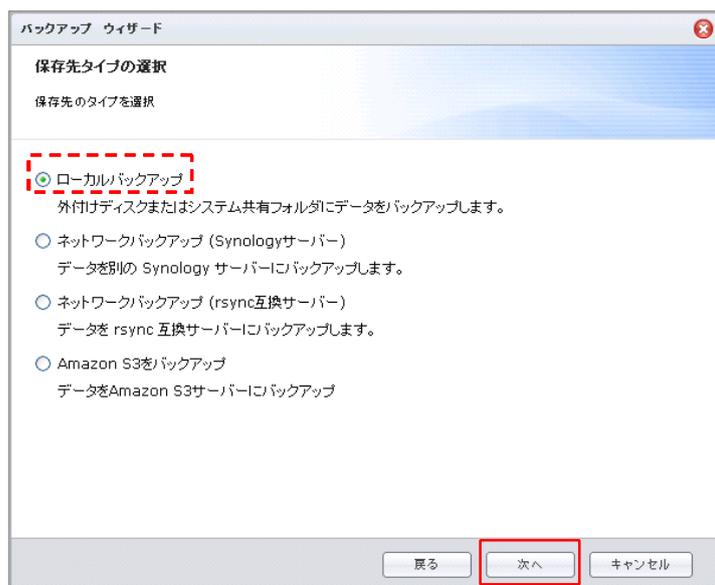
4

バックアップ ウィザードの「バックアップタスクの作成」画面が表示されますので、任意の名前を付け【次へ】をクリックします。



5

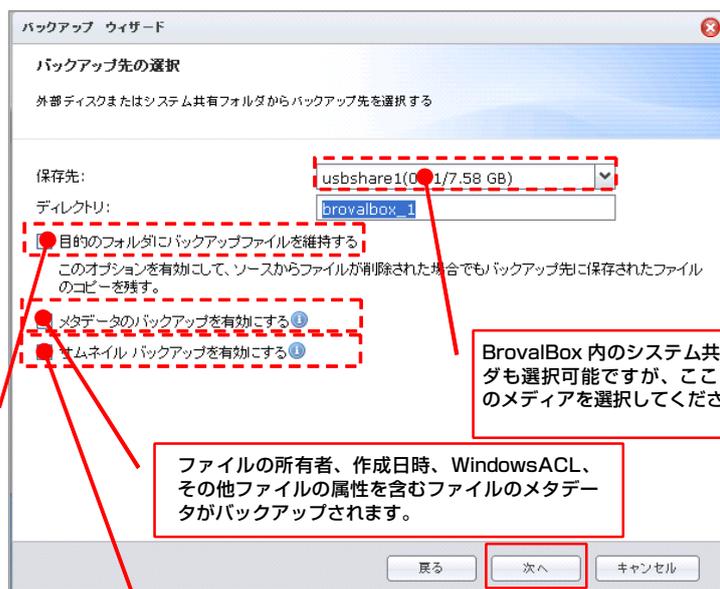
バックアップ ウィザードの「保存先タイプの選択」画面が表示されますので、【ローカルバックアップ】にチェックを入れ【次へ】をクリックします。



# 6

バックアップ ウィザードの「バックアップ先」の選択画面が表示されますので、バックアップ先には「USB または eSATA インタフェース経由で接続されている外部記憶メディア」をプルダウンメニューから選択して【次へ】をクリックします。

「目的のフォルダにバックアップファイルを維持する」にチェックをいれると、BrovalBox は変更したファイルをすべてバックアップし、ソースから削除されたファイルはバックアップ先では削除されません。



BrovalBox 内のシステム共有フォルダも選択可能ですが、ここでは外部のメディアを選択してください。

ファイルの所有者、作成日時、Windows ACL、その他ファイルの属性を含むファイルのメタデータがバックアップされます。

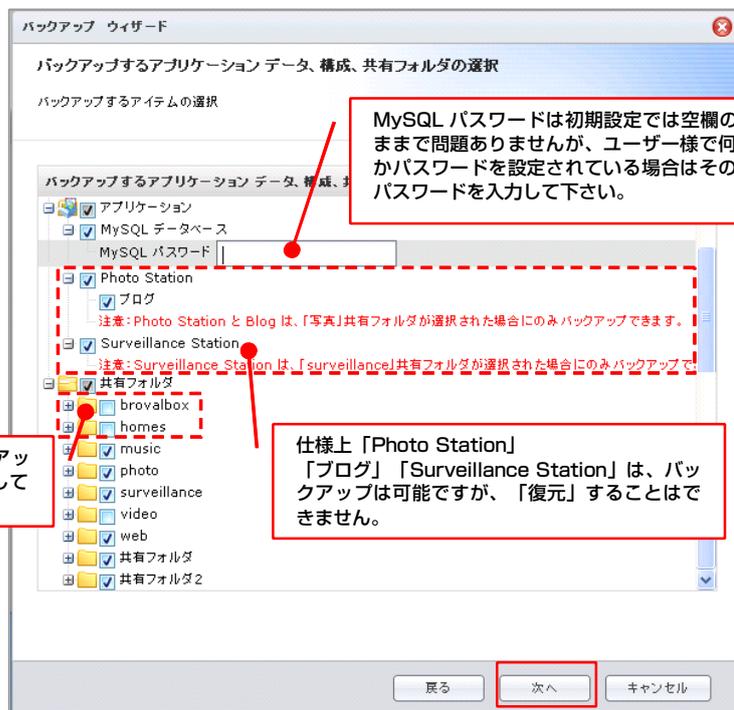
Photo Station のサムネイルの画像をバックアップします。  
※サムネイル分のバックアップ容量が必要になります。

# 7

バックアップ ウィザードの「バックアップする共有フォルダを選択」画面が表示されますので、「brovalbox」「homes」以外のバックアップを行うフォルダを選択し【次へ】をクリックします。

※仕様上「brovalbox」「homes」のデータは外部記憶ディスクへのバックアップはできません。

「brovalbox」「homes」はバックアップできませんので、必ずチェックを外してください。



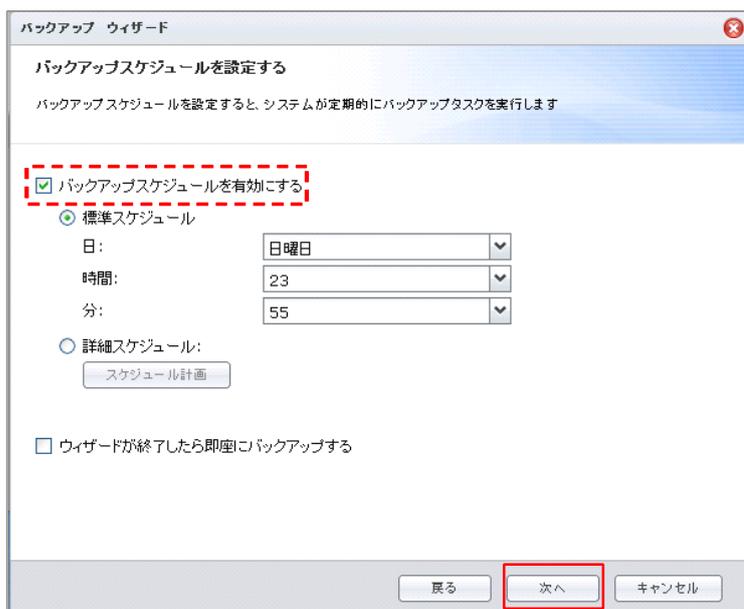
MySQL パスワードは初期設定では空欄のままでも問題ありませんが、ユーザー様で何かパスワードを設定されている場合はそのパスワードを入力して下さい。

仕様上「Photo Station」「ブログ」「Surveillance Station」は、バックアップは可能ですが、「復元」することはできません。

# 8

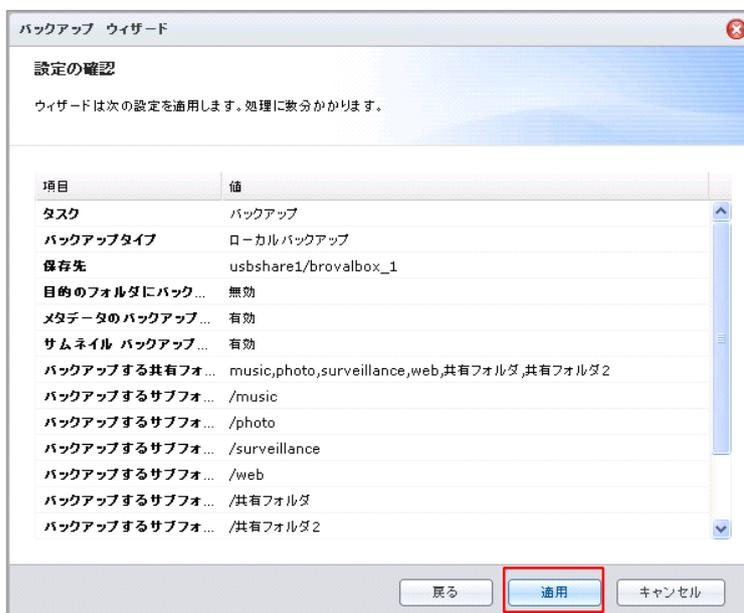
バックアップ ウィザードの「バックアップスケジュールを設定する」画面が表示されますので、バックアップを行うタイミングをスケジューリングして自動で行いたい場合は、「バックアップスケジュールを有効にする」にチェックを入れ、日時を指定します。

手動でバックアップを行う場合は、何も設定せず【次へ】をクリックします。



# 9

バックアップ ウィザードの「設定の確認」画面が表示されますので、【適用】をクリックします。



10

「バックアップと復元」画面に戻り、バックアップタスクが追加されたことを確認することができます。

※バックアップタスクを選択した状態で「今すぐバックアップする」をクリックすれば、いつでもバックアップを行うことができます。



# バックアップの復元方法(外付け HDD)

～外付け HDD にバックアップしたデータを BrovalBox に復元する方法～

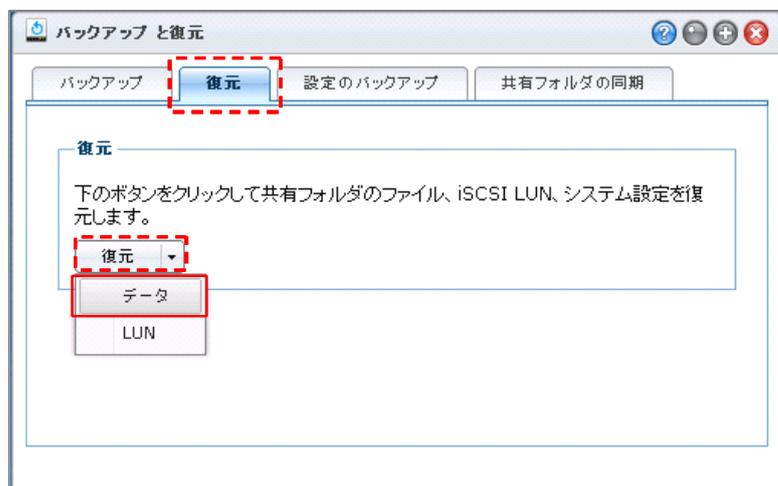
1

「管理者権限 (admin)」でログイン後、admin メニューから「バックアップと復元」をクリックします。



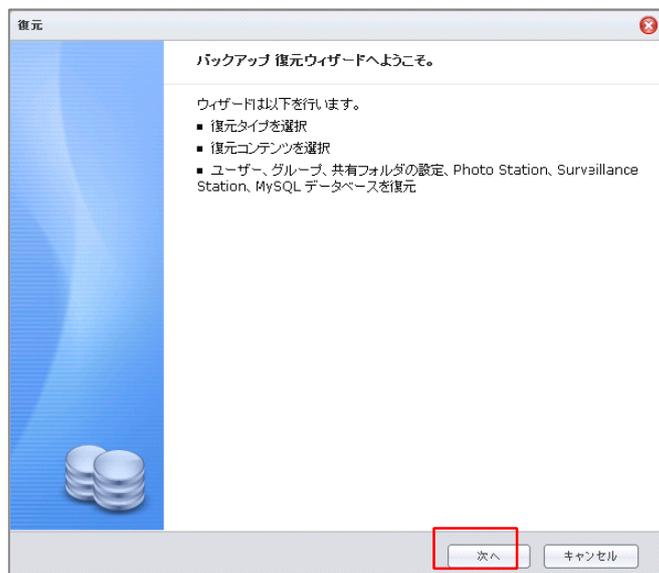
2

「バックアップと復元」画面が表示されますので、「復元」のタブをクリックし、「復元」のプルダウンから「データ」をクリックします。



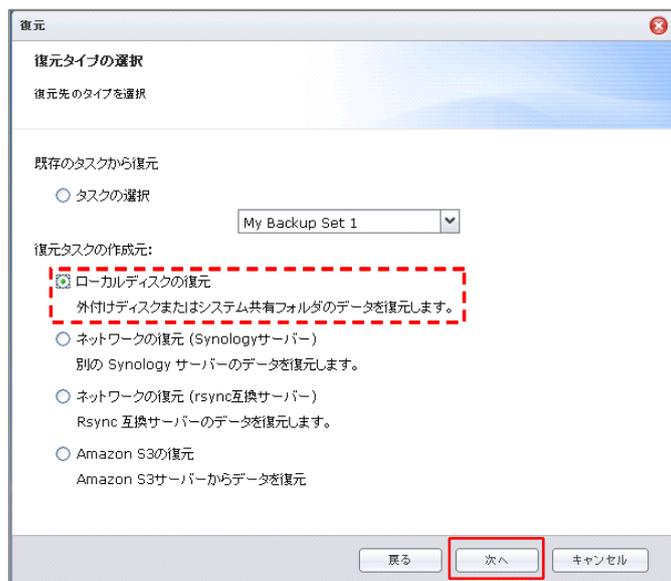
3

「バックアップ 復元ウィザード」画面が表示されますので、「次へ」をクリックします。



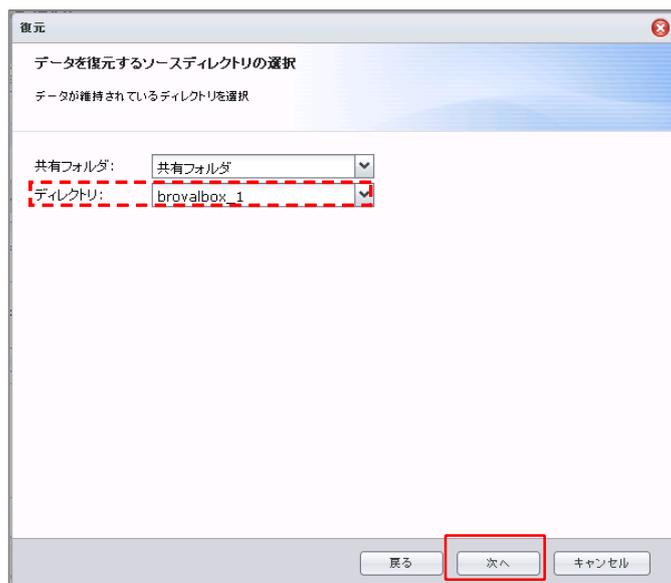
4

バックアップ 復元ウィザードの「復元タイプの選択」画面が表示されますので、「ローカルディスクの復元」にチェックを入れ、【次へ】をクリックします。



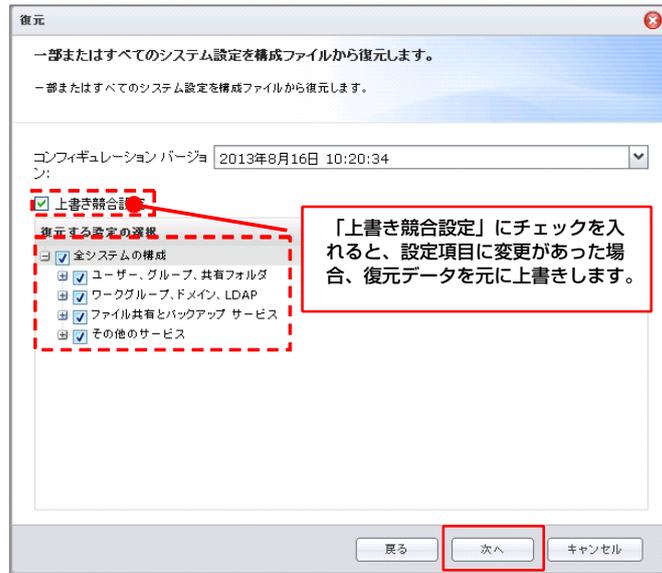
5

バックアップ 復元ウィザードの「データを復元するソース共有フォルダの選択」画面が表示されますので、バックアップファイルのあるフォルダを選択して【次へ】をクリックします。



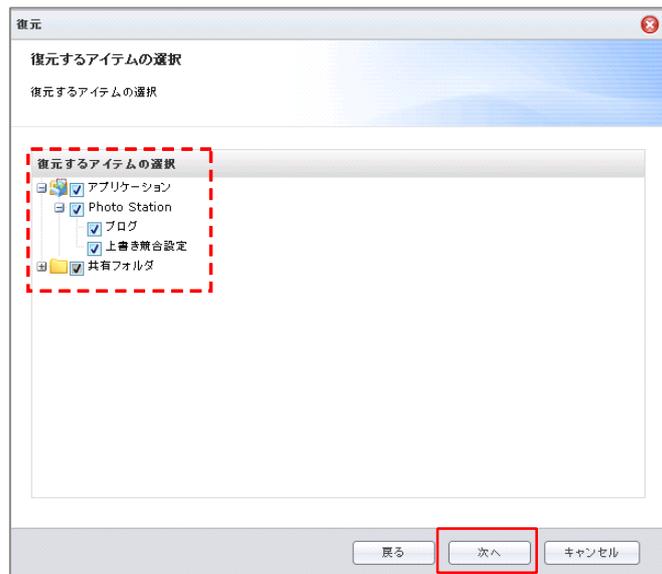
# 6

バックアップ 復元ウィザードの「一部またはすべてのシステム設定を構成ファイルから復元します。」画面が表示されますので、復元する設定項目を選択し【次へ】をクリックします。



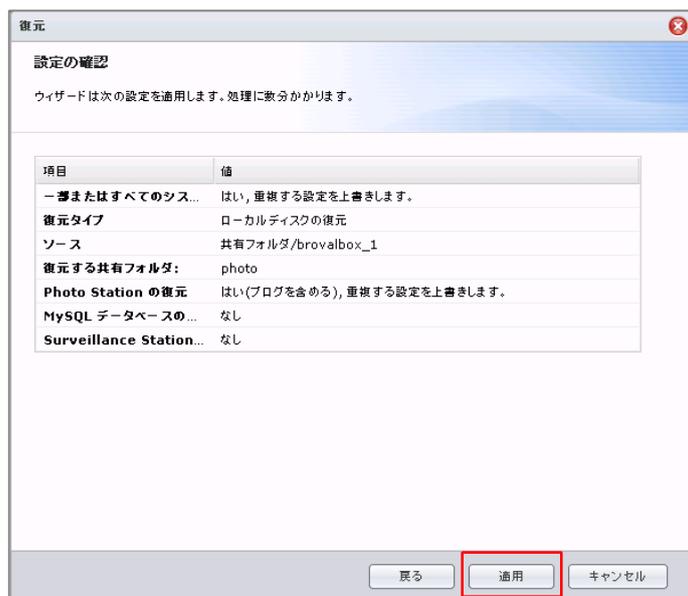
# 7

バックアップ 復元ウィザードの「復元するアイテムの選択」画面が表示されますので、復元するアプリケーションを選択し【次へ】をクリックします。



8

バックアップ 復元ウィザードの「設定の確認」画面が表示されますので【適用】をクリックします。



9

「バックアップと復元」画面に戻り、自動的に復元が開始され、【成功】と表示されれば復元は完了となります。

